

PPMC - 112 Rev.C 不具合報告

2003/02/20

技術部 宮崎

1. 概要

起動パルス速度以下でパルス出力中に高速リミットを入力すると予期しない動作を起こす。

2. 現象

まず、高速リミット有効速度設定命令にてあらかじめ起動パルス速度未満の速度でも高速リミットを有効にしておく。定速動作命令や即時速度変更命令で起動パルス速度未満（起動パルスレートを超える）で動作させる。動作中に回転方向に対応した高速リミットを入力すると、予期しない加減速を引き起こす。

3. 原因

PPMC-112 のバグで、加減速テーブル外のメモリを参照することによる。

4. 回避方法

高速リミット有効速度設定命令にてあらかじめ起動パルス速度未満にしない（高速リミットを無視するようになる）。または初期設定の加減速範囲内の速度で使用するようにする。

なお、この不具合は PPMC-112 Rev.D にて修正されている。（Rev.D では起動パルス速度未満の動作中に高速リミットを検出すると即停止する。）

以上